

第2回福山市地域コミュニティのあり方検討委員会

2019 年（令和元年）9月19日



【第2回】

テーマ

地域支援のあり方の検討

目標

これからの地域支援制度について考える

1. 第1回検討委員会「ワークショップ」の振り返り(その1)

改善点

地域がやること

- ・ 組織をスリム化する。組織の数を少なくする。
- ・ 地域団体の枠の見直し。町内会の合併。適正な大きさの組織(基準を設ける)をめざす。
- ・ 役員の人数を見直し。
- ・ 現職が次の世代に引き継ぐ。育成, バックアップ, 次期リーダー(40~50歳台)の育成, 若手をきたえる。
- ・ 若い人が参加しやすい「ポスト」を設ける。若い方との話し合いの場づくり
- ・ 担い手・ボランティアを募集, 発掘する。
- ・ 間口を広げる。自主的にやろうと思う人を見つける。声をかける。
- ・ 各団体との情報交換を密にする。
- ・ 地域の人を知る。つながりを持つ。人と人とのつながり
- ・ 地域づくりにかかわるといろんなことがわかる。
- ・ 事務引き継ぎなどのシステム化

1. 第1回検討委員会「ワークショップ」の振り返り(その2)

改善点	行政がやること	<ul style="list-style-type: none">・ 行政からの配布物等の一本化 ⇒ 事務局へ・ やる気をささえる経済的支援・ 拠点(公民館)への行政の支援・ 行政責任を再認識すべき・ 明確な相談先, 地域の担当窓口(たらい回しにしない。), たて割りをやめる。・ 早く去年の被害を復旧してほしい。・ 町内の歴史の発掘, 歴史をわかりやすくする。(資料づくり)
	行政に見直してほしいこと (やめてもらいたいこと)	<ul style="list-style-type: none">・ 町内への配布, 回覧を控えてほしい(回覧数を減らしてほしい)。回覧を精査する(回覧をなくしたら困る)。・ 漠然とした研修会や講演会(人集めが大変), 行事の動員の見直し・ 敬老会の記念品を75歳以上に(80・90歳の人には手厚くする。)・ 活動の有益性を認めて, 広めてほしい。・ たらい回し・ 要望, 要請の早期解決と連絡・ まちづくり座談会・ 地域コミュニティの目的をはっきりとさせる。

2. 「地域コミュニティ」とは

- 居住地域を同じくする共同体，主に日常生活が行われる範囲において，住民同士の組織的，共同的な営みをいう（総務省定義）。

いいかえると

同じ地域に生活する住民同士がつながりあい，暮らしを支え合う組織や営み

○地域コミュニティのイメージ図

この検討委員会では，おおむね小学校区ごとのまちづくり推進委員会の範囲のあり方について議論します。



○地域コミュニティで活躍している団体

- ・自治会，町内会
- ・女性会
- ・子ども会
- ・老人会
- ・PTA
- ・まちづくり推進委員会
- ・福祉を高める会
- ・自主防災組織
- ・公衆衛生推進委員会
など

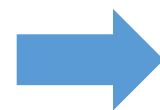
1) 地域コミュニティの役割

- 地域活動
 - ・見守り等地域での支え合い
 - ・文化や伝統の継承
 - ・防災等地域の安心・安全 等
- 地域課題の発見
 - ・地域で解決に向けて取り組む
 - ・行政や専門機関へつなぐ 等



2) なぜ地域コミュニティが必要なのか

- 地域コミュニティがないと、
- 地域での支え合いがなくなる
 - 文化や伝統が継承されない
 - 何かあったときの「共助」がない



**だからこそ
「地域コミュニティ」
が必要**

3. 協働のまちづくりを支える福山市の5つの特徴

- 1) まちづくりの拠点【公民館・交流館・コミュニティセンター(館)】
- 2) 地域の未来ビジョンづくり【地域まちづくり計画】
- 3) 地域と行政をつなぐ【生涯学習センター, 協働推進員】
- 4) 全市的に市民活動を支援する拠点【まちづくりサポートセンター】
- 5) まちづくりへの関心を深める講座【ふくやま人財大学】

4. 活動財源

1) 福山市地域まちづくり推進事業補助金

2019年度(令和元年度)予算額 1億2,800万円

1委員会
平均160万円

事業概要・目的

- ・ まちづくり推進委員会(79委員会)が地域の課題解決や活性化をはかるために取り組む事業に対する補助金。
- ・ 均等割額と世帯割額を元に金額を算出

2) 福山市地域まちづくり計画推進事業補助金

※2019年度(令和元年度)で事業終了

2019年度(令和元年度)予算額 800万円

1委員会
上限30万円

3年間限定

事業概要・目的

- ・ 地域まちづくり計画を策定したまちづくり推進委員会が、同計画に基づき実施する事業に対する補助金。
- ・ 1年あたり30万円を上限に補助金申請可

3) 地域活動を支える各種助成・支援制度

資料2-2

5. 様々なまちづくり

高齢者の交流拠点「日吉台くらぶ」を活用したまちづくり（日吉台学区）

2014年（平成26年）6月に高齢者の交流拠点としてオープンした「日吉台くらぶ」。

住民の憩いの場になるようばら花壇を整備するとともに、趣味の講座や健康講座も定期的に行っています。また、同年11月には学区内バス路線の減少に対応し、住民の買い物や病院等への外出を支援する「おでかけ支援事業」の取組を始めました。

2015年（平成27年）7月には、地域包括ケアシステムを活用した「珈琲サロン・憩い」を開始。

毎週金曜日には、お出かけ支援事業を活用して買い物から帰る住民も立ち寄り、食事とおしゃべりを楽しんでいます。



「珈琲サロン・憩い」



おでかけ支援事業

松永はきもの資料館の運営（松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会）

一旦閉館していた文化施設を「松永はきもの資料館（愛称：あしあとスクエア）」として2015年（平成27年）7月から地域住民と行政の協働により運営しています。

松永地域9学区（町）が連携し、松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会事業として、毎週金・土・日・祝日に地域住民が受付業務等を担い、開館しています。



松永はきもの資料館



連絡協議会による受付業務

6. 協働のまちづくりを支える施策

1) まちづくりサポートセンター

まちづくりサポートセンター（愛称：まちサポ）は、ボランティアやNPOをはじめとするあらゆる市民活動を支援するまちづくりの交流拠点です。

「活動を多くの人に知ってもらいたい」「活躍のステージやパートナーを探している」などのニーズに応え、市民の皆さんが主役として輝くまちづくりをサポートし、協働のまちづくりの更なるバージョンアップをめざします。

「まちサポ」に登録すると、市ホームページなどでの団体情報の発信や登録団体同士の交流の場への参加、「まちサポ」の諸室の無料利用などができます。



ボランティア・NPO相談

毎月2回、専門相談員がまちづくりに取り組む皆さんの課題解決をサポートします。

平日の午前9時から午後4時までは、センター長による「まちづくり相談」を常時受け付けています。

(※相談無料、予約優先)



相談の様子

まちづくりCafe

ゆるやかなカフェの雰囲気の中で、まちづくりに関する情報交換や活動紹介などを気軽におしゃべりし、つながりをつくる場です。



Cafeの様子

2) まちづくりサポートセンターを中心としたまちづくり

仕組みづくり

- 各学区（町）による「地域まちづくり計画」に基づく事業の推進を支援
- 専門（プロ）人財の活躍
- 新たな行政支援
- NPO活動と地域との連携



竹の資源化事業

人づくり

- ふくやま人財大学
まちづくりサポートセンターと連携し、学びの成果が地域活動につながる実践的な機会を提供します。
- まちづくり大学 ○ばら大学 ○人権大学 ○防災大学
- イコールふくやま人材育成セミナー ○環境大学
- 多文化共生大学 ○子育て支援ボランティア養成講座

学ぶ

地域課題
に気付く

仲間を
つくる

行動する

まちづくり(活躍の場)

【地域での活躍の場づくり】
市民協働による文化施設の運営

まちづくりサポートセンター(全市的にまちづくりを支援)



学校・大学・企業

地域団体

まちサポ

ボランティア
NPO等

行政

- 『まちづくり人財バンク』による活躍の場の提供
- 市民活動のマッチング（仲介）
- 情報の集約と提供 ●活動場所の提供
- ボランティア・NPO等のネットワークづくり
- 市民活動時の安心補償

3) 人材育成の取組 ふくやま人財大学

ふくやま人財大学は、地域活動に関わる幅広いコース・講座を設けて、市民の皆様が受講を通じ、①地域活動に必要な知識・技術を学び ②仲間同士のネットワークを広げ ③自らの学びの成果を地域社会の中で活かすことを目的として開催しています。

【コース一覧】全4コース8講座

- 教養コース ふくやま♡まちづくり大学, 福山ばら大学, ふくやま人権大学, イコールふくやま人材育成セミナー, 福山多文化共生大学
- 安心安全コース 福山防災大学(防災士養成講座)
- 環境コース ふくやま環境大学(環境サポーター養成講座)
- 子育て応援コース キラキラサポーター(「子育て支援ボランティア」養成講座)

ふくやま♡まちづくり大学

開講期間
2019年(令和元年) 8/31(土)から
2020年(令和2年) 2/9(日)まで

「ふくやま♡まちづくり大学」は、福山のまちを舞台に人がつながり学び合う出会いと学びの場です。

地域で活動中の人、NPOや団体をつくり仲間とともに活動中の人、「まちづくり」に関心を持ち始めた人も、学びの場はあなたから。新しい一歩を踏み出してみませんか。
もっとふくやま、好きになる。

<p>公開講座</p> <p>全4回</p> <p>他の地域の助成や講演を聞き、まちづくりのヒントとします！</p>	<p>ファシリテーション講座</p> <p>全1回</p> <p>話しやすい場づくりや合意形成の方法を学びます！</p>
<p>フィールドワーク</p> <p>全2回</p> <p>地域資源を活かしたまちづくりを現地学習により学びます！</p>	<p>つながるまちカフェ</p> <p>全2回</p> <p>団体活動に役立つ学びや、団体同士の交流の場です！</p>

主催 福山市 受講無料

問合せ先 福山市民局まちづくり推進人権・生涯学習課
TEL 084(928)1243 FAX 084(928)1229
E-mail jinken-shougai@city.fukuyama.hiroshima.jp

ふくやま人財大学・共通科目の「ふくやま♡まちづくり大学」は、人がつながり、学び合う、出会いと学びの場です。市民一人ひとりが「まちづくりの主役」として、いきいきと活躍できるまちの実現をめざして開催します。



2016年度(平成28年度)の様子

2019年度(令和元年度)チラシ

4) 地域ポイント制度（まちづくりパスポート事業）

まちづくりパスポート事業（愛称：まちパス）は、将来、福山のまちづくりを支える子どもたちの市や地域行事への参加を促し、福山市への関心を高めることを目的とした制度です。

「まちパス対象活動」（ボランティア活動や地域清掃、公民館の講座など）参加により「まちパスポイント」を集め、集めたポイントにより、ばらの苗や市内映画館での無料鑑賞などの特典と交換できます。

市内に在住または通学する小・中・高等学校の児童・生徒、専門学校生、大学生及びその家族を対象としています。

まちづくり推進委員会が主催する子どもを対象とした地域活動は、まちパス対象活動になります。詳細は公民館にお尋ねください。



福山ばら祭「ローズボランティア」



まちづくりパスポート

5) 協働推進員制度

2013年度（平成25年度）から各課に「協働推進員」を設置しています。全ての職場に協働のまちづくりの窓口となる職員を配置することにより、職場の全職員の協働意識を高め、市民協働の取組をさらに横断的・全庁的に推進し、住民の皆さんから事業提案や相談のしやすい環境づくりをめざしています。

協働推進員との連携事例～河川清掃～（引野学区）

地域のまちづくり推進委員会から河川清掃の相談を受けた生涯学習センターが協働推進員を窓口として関係課につなぎ、住民と行政で協議し、清掃活動を実施しました。

住民と行政が協議を重ね、役割を担いあった清掃活動は、市民と行政の信頼関係の構築や、自助・共助の意義・役割意識の浸透、安全な清掃活動の実施、参加者同士の交流につながりました。



清掃活動の様子